

二年間一
雨なし

住民は配
流者の子
孫

なくして人家約百二十戸、庫爾喀喇烏蘇直隸廳衙門あり、軍隊は歩隊一營馬隊一旗を置く。此地一帯水利ありて米の産出多し、聞く最近二年間は一回の降雨あらずと。翌三日茲に休養滞在す。

沿道の住民は道光以前に、南清より配流せられし犯罪者の子孫多く、人情輕薄の地と稱せらるると。

第四節 西湖より北して塔爾巴哈臺に到る

一、吞氣なる護衛兵

四月四日、僅々約四里餘の行程を以て、上西湖シヤンシーホに宿す。蓋し融雪の爲め道路泥濘脚を没し、人馬共に歩行困難疲勞甚だしきに因る。途上多くの牛及駱駝を牧養するを見たり。是日護衛馬隊の中一人、牛を率きて先行する者あり。初め何の爲めなるを知らず。既にして途中一民房に立寄り、秣を徵發して馱載するを認め、始めて歸路携行の準備なるを知る。其の吞氣さ概ね斯の如し。五日は行程約八里、頭臺に着す。此間道路の東側は、葦原ならざれば沼澤、其北側半路は灌木多く、間々雜